



令和三年皐月

# 城北中だより

## 城北中学校教育目標

- 思いやりのある生徒
- 真剣に学ぶ生徒
- 健康な生徒

## 生徒数

1年	167名
2年	157名
3年	173名
特別支援学級	8名
全校生徒数	505名

## 新緑の季節に

校長 遠藤 敏恵

草木の緑が鮮やかな季節となりました。Robert Frost（ロバート・フロスト）というアメリカの詩人の詩の一節に、“Nature’s first green is gold.”とあります。この時期の、新芽や若葉のような「萌えいずる緑」は「黄金」のように輝いている、と表現しているのでしょうか。まさに黄金のように、きらきらと光っていて、私には生徒の皆さんと重なって見えます。

令和3年4月、入学や進級という新しい環境で過ごす新しい時間がスタートして、それぞれが慣れない中で、緊張した学校生活を送った3週間だったと思います。大きな事故もなく、健康や安全に気を付け、学校生活を送ってくれたことに心から感謝します。ある放課後、校庭の部活動を見てまわっていると、「校長先生、こんにちは！」と元気な声が聞こえてきました。活動の手を止めて、こちらを向いて、それはそれは、気持ちのいい挨拶でした。部活動も1年生が本入部となり、それぞれの部が活発な活動を展開しています。特に運動部は、1ヶ月後の学校総合体育大会に向けて練習を重ねているところですが、新入部員を迎え、2・3年生たちがひとつひとつ丁寧に指導している場面を各部で目にします。1年生の新入部員たちも、慣れないながらも一生懸命にそれに応えようとしていて、とても微笑ましいこの時期ならではの学校の姿が見られます。2・3年生どうもありがとう。1年生、今は少し苦しいかもしれないけれどがんばれ！昨年度の今頃は、唯々生徒のいない教室や校庭を眺めることしかできなかったなど、生徒が元気に活動できる有難さを楽しみ感じています。新型コロナウイルス感染拡大防止に関しては、今後も生徒、職員が一丸となって取り組んでまいります。

最初に触れた Robert Frost の詩ですが、実は最後に“Nothing gold can stay.”で締めくくられます。「何も黄金のままではいられない」という寂しい最後なのです。咲いている花も時期がくれば花びらを落とすように、輝いているものもいつかは朽ちて、輝きを失ってしまうのだ、というのです。ちなみにこの詩は、“The Outsiders”「アウトサイダー」という映画の中でも引用されていて、その映画のなかでは、「いつまでもその瑞々しい少年の感覚を失わないでいて」という意味を込めて、“Stay gold.”「いつまでも輝いていて」という言葉が使われています。生徒の皆さんは“Nature’s first green”「萌えいずる緑」の真ただ中です。ぜひ色々なことに挑戦し、“Stay gold.”自分の世界を広げていって欲しいなと思います。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。本校では引き続き、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に努めてまいります。ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

